

平成30年3月14日

一般社団法人 日本広告業協会

第47回懸賞論文 入賞・入選作品 決まる

一般社団法人 日本広告業協会（理事長 成田純治・㈱博報堂 取締役相談役）主催による第47回「懸賞論文」は、3月1日、2日の本協会懸賞論文委員会の最終審査会において「論文」および「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の入賞・入選作品を選考し、3月14日開催の第304回理事会にて承認、決定した。

同賞は、協会会員社内における実務に根ざした主張や提言を広告業界に反映させるという趣旨で昭和46年に第1回の募集が開始され、今年度で47回を数える。

応募は、「論文」の部課題「広告の向かうところ」に58編、「私の言いたいこと <一般部門> <新人部門>」の部に423編、計481編だった。厳正なる審査の結果、論文から金賞・銀賞・銅賞の3作品、「私の言いたいこと」からは入選10作品が選出された。

金賞を受賞した、榊原廣氏（㈱博報堂DYメディアパートナーズ）の作品「広告の使命」は、メディアのデジタル化と企業の効率志向の中でも、広告は「価値を創造し、提案する」ことが本質的な使命であると説き、「今回の課題に対し真っ向から答えを出してきた」と多くの審査員より評価された。

なお表彰式は、5月31日に開催される平成30年度定時総会・記念式典にて行う。また、同時にJAAAレポート臨時増刊号『第47回懸賞論文 入賞・入選作品集』を発行する。